

- 問1 サウジアラビアなどの西アジア諸国で広く信仰されている宗教について、唯一神アッラーを信じ、聖地メッカへの礼拝や断食、豚肉を口にしないといった厳しい戒律を持つ宗教の名称を答えなさい。（2016年 香川県公立入試 類似）
- キリスト教
 - イスラム教
 - ヒンドゥー教
 - 仏教
- 問2 赤道直下に位置するマナオスの気温と降水の特徴について、その背景や仕組みを説明した文として最も適切なものはどれですか。（2015年 佐賀県公立入試 類似）
- 寒流が流れる沿岸部に位置するため、気温は一年中一定に保たれるが、空気中の水蒸気が凝結せず雨はほとんど降らない。
 - 一年中太陽が真上付近を通るため、季節による日照時間の差が小さく、常に気温が高い状態で安定している。
 - 季節風（モンスーン）の影響を強く受けるため、夏は海からの湿った風により降水量が多くなり、冬は乾燥する。
 - 南半球の中緯度に位置するため、日本とは季節が逆になり、1月前後に気温が最も高く降水量も最大となる。
- 問3 酸性雨による被害は、原因となる物質を排出した国とは別の国で発生することが少なくありません。このように、一国のみの対策では解決が困難な国際的な問題となっているのはなぜですか。その理由として適切なものを選びなさい。（2016年 静岡県公立入試 類似）
- 高度経済成長期の日本において、公害病を防ぐための法整備が遅れたから
 - 発展途上国における人口急増により、薪炭材としての森林伐採が止まらないから
 - 原因となる大気汚染物質が、偏西風などの風に乗って国境を越えて運ばれるから
 - 原因物質が海流に乗って運ばれ、世界各地の沿岸部に漂着して被害を出すから
- 問4 中国とインドの人口構成を比較した際、中国では1990年頃から65歳以上の人口割合がインドを上回るペースで上昇し続けています。中国において、このような人口構成の変化がインドよりも顕著に、かつ急速に進んでいる背景として最も適切な説明はどれですか。（2024年 山形県公立入試 類似）
- 経済発展に伴って若年層が国外へ大量に流出し、国内の高齢者の比率が相対的に高まったため
 - 一人っ子政策による出生率の抑制と、医療の発展による平均寿命の伸びが同時に進んだため
 - 広大な国土を管理するために、都市部から農村部への大規模な人口移動が強制的に行われたため
 - インドに比べて乳児死亡率が非常に高く、次の世代を担う年少人口の割合が極端に低いため
- 問5 1990年から2013年にかけての世界の二酸化炭素排出量の変化について、1990年の排出総量が206億トン（日本の割合5.1%）であったのに対し、2013年には排出総量が322億トン（日本の割合4.8%）に増加したという統計があります。この数値から読み取れる日本の二酸化炭素排出の実態について、正しい記述を選択してください。（2017年 鳥取県公立入試 類似）
- 排出割合が5.1%から4.8%に低下しているため、省エネ技術の普及によって日本国内の実際の排出量も1990年時点より減少している。
 - 世界の排出総量が大幅に増加したため、日本の排出割合がわずかに低下していても、実際の排出量そのものは1990年時点よりも増加している。
 - 日本の排出割合の低下は、アメリカ合衆国や中国などの排出総量が減少したことで、相対的に日本の割合が下がったことを示している。
 - 地球温暖化の原因となる温室効果ガスの排出を抑える国際的な取り組みにより、世界全体の排出総量は1990年を下回る水準まで改善された。
- 問6 世界の「食料廃棄」と「食料不足」の不均衡な現状を背景に、持続可能な社会を実現するための取り組みとして、最も適切な説明はどれですか。（2019年 福岡県公立入試 類似）
- 食料不足を解消するために、先進国での食料廃棄量を意図的に増やし、市場に出回る食料の価格をさらに下げる。
 - 途上国の食料不足は人口爆発のみが原因であるため、食料の分配問題よりも人口抑制政策を最優先事項として取り扱う。
 - 生産された食料の約3分の1が無駄になっている現状を改善するため、効率的な流通システムの構築や消費行動の変革を推進する。
 - 食料生産量を現在の2倍に増やすことで、たとえ3分の1が廃棄されたとしても全員に行き渡るような過剰供給体制を整える。
- 問7 世界各地の気候と衣服の関係について述べた文のうち、南アメリカ大陸西部の高山地域で見られる生活様式の説明として、最も適切なものはどれですか。（2021年 広島県公立入試 類似）
- 高温多湿な環境に適応するため、樹皮や草の繊維を編み込んだ風通しの良い衣服を用いる。
 - 強い日差しから肌を守り、風通しを良くするために、体全体を覆う薄い綿布を用いる。
 - 標高が高い環境で飼育されているアルパカなどの毛を利用した毛織物を用いる。
 - 高緯度の寒冷な気候において、狩猟で得たアザラシやトナカイの皮を用いた毛皮を用いる。
- 問8 北半球の夏季にあたる6月から9月にかけて気温が上昇する一方で、同時期の降水量が極端に少なくなり、夏に高温乾燥となる特徴を持つ気候を何といいますか。（2021年 埼玉県公立入試 類似）
- 温暖湿潤気候
 - 地中海性気候
 - 西岸海洋性気候
 - 熱帯雨林気候
- 問9 サトウキビやトウモロコシなどを原料とするバイオ燃料の利用が、地球温暖化の抑制に寄与するとされている理由として、最も適切なものはどれですか。（2021年 熊本県公立入試 類似）
- 植物を原料とすることで、燃焼時に二酸化炭素を吸収して酸素を放出する化学反応が起きるため
 - 石油などの枯渇性資源と比べて製造コストが極めて低く、経済活動を停止させる必要がないため。
 - バイオ燃料は燃焼させても二酸化炭素や排気ガスを一切排出しない性質を持っているため。
 - 燃焼時に排出される二酸化炭素は、原料となる植物が成長過程で吸収したものとみなされるため。
- 問10 北半球にある都市の統計において、7月の平均気温が約25度と年間で最も高くなる一方で、6月から8月にかけての降水量が極めて少なく、10月から1月にかけて降水量が多くなる「V字型」の降水パターンを示す温帯の気候区分を何といいますか。（2026年 三重県公立入試 類似）
- 温暖多雨気候
 - 温暖湿潤気候
 - 地中海性気候
 - 西岸海洋性気候
- 問11 南アフリカ共和国のケープタウンにおける、1年間の気温と降水量の特徴について説明した次の記述のうち、正しいものはどれですか。なお、ケープタウンでは、1月の平均気温が約21度と最も高く、7月の平均気温が約12度と最も低くなる「谷型」の気温変化を示し、雨は気温が低くなる5月から8月にかけて多く降ります。（2015年 佐賀県公立入試 類似）
- 北半球に位置しており、夏季に気温が上がらず、一年を通して降水量が極めて少ないツンドラ気候に属している。
 - 南半球に位置しており、夏季にあたる時期に乾燥し、冬季に降水量が多くなる地中海性気候に属している。
 - 北半球に位置しており、夏季にあたる時期に降水量が多く、冬季に乾燥する温帯モンスーン気候に属している。
 - 南半球に位置しており、偏西風の影響を一年中受けるため、季節を問わず降水量が一定である西岸海洋性気候に属している。
- 問12 世界の農産物生産に関する統計資料において、生産量の割合が高い国としてロシアやカナダが含まれる農作物を、次のうちから選びなさい。なお、比較対象となる別の資料では、インドネシアやベトナムといった熱帯の国々の生産割合が高くなっています。（2022年 高知県公立入試 類似）
- トウモロコシ
 - 稲
 - サトウキビ
 - 小麦

答え合わせ・解説

問1	答え 2 イスラム教	西アジアから北アフリカにかけての乾燥帯の国々で多く信仰されている宗教です。信者はムスリムと呼ばれ、信仰の証として1日5回の礼拝や、ラマダーン（断食月）の実施、一生に一度のメッカ巡礼など、生活の細部にわたる宗教上の規定を守っています。
問2	答え 2 一年中太陽が真上付近を通るため、季節による日照時間の差が小さく、常に気温が高い状態で安定している。	マナオスのような赤道近辺の地域では、一年を通して太陽からのエネルギーを垂直に近い角度で受けるため、気温が低下する時期がありません。この熱によって空気が温められて上昇気流が生じ、熱帯収束帯（赤道低圧帯）と呼ばれる雨の多い地域が形成されます。そのため、降水量が最も少ない時期でも50mm以上の雨が降り、年中高温多雨の環境が維持されます。
問3	答え 3 原因となる大気汚染物質が、偏西風などの風に乗って国境を越えて運ばれるから	酸性雨の原因となる汚染物質は、気流の影響を受けて広範囲に拡散します。例えば、ヨーロッパでは工業地帯から排出された汚染物質が風で運ばれ、国境を越えて周辺国の森林や湖沼に被害を及ぼします。このように、被害をもたらす物質が国境を越える「長距離越境大気汚染」の性質を持つため、国際的な条約や協力体制による解決が求められています。
問4	答え 2 一人っ子政策による出生率の抑制と、医療の発展による平均寿命の伸びが同時に進んだため	中国では1979年から2015年まで人口抑制のために「一人っ子政策」が実施されました。これにより子供の数が減り、一方で経済発展と医療の普及によって平均寿命が延びたことで、総人口に占める老年人口の割合がインドよりも早いスピードで上昇しました。これは将来的な労働力不足（生産年齢人口の減少）などの社会問題に直結しています。
問5	答え 2 世界の排出総量が大幅に増加したため、日本の排出割合がわずかに低下していても、実際の排出量そのものは1990年時点よりも増加している。	1990年の日本の排出量は約10.5億トン（206億トン×0.051）であり、2013年は約15.5億トン（322億トン×0.048）となります。このように、比較の基準となる「世界の排出総量」が約1.5倍に増えているため、構成比（パーセント）がわずかに減少していても、実際の排出量は大幅に増加していることがわかります。地球温暖化の要因となる二酸化炭素などの温室効果ガス削減は世界共通の課題ですが、新興国の経済成長に伴い、世界全体の排出量は増加傾向にあります。
問6	答え 3 生産された食料の約3分の1が無駄になっている現状を改善するため、効率的な流通システムの構築や消費行動の変革を推進する。	年間約13億トンにもものぼる食料廃棄は、環境負荷の増大（廃棄処理に伴う温室効果ガスの排出など）を招くだけでなく、飢餓に苦しむ約8億1500万人の人々へ資源を適切に分配できていない倫理的な問題も内包しています。SDGs（持続可能な開発目標）においても、小売・消費レベルでの世界全体の食料廃棄を半減させることが目標として掲げられており、生産から消費に至るまでのサプライチェーン全体での見直しが求められています。
問7	答え 3 標高が高い環境で飼育されているアルパカなどの毛を利用した毛織物を用いる。	アンデス山脈に代表される高山地域では、その土地の環境に適応した独自の生活文化が築かれています。高地では農耕が制限される一方で、アルパカやリャマなどの家畜の放牧が行われており、それらの毛を原材料とした「毛織物」が衣服として利用されます。トナカイなどの「毛皮」を用いるのは北極圏などの高緯度地域（寒帯）の特徴であり、高山地域の「毛織物」とは区別する必要があります。
問8	答え 2 地中海性気候	温帯のうち、夏季に亜熱帯高圧帯の影響下に入ることによって降水量が著しく減少し、乾燥する気候を地中海性気候と呼びます。イタリアなどの地中海沿岸のほか、アメリカ合衆国の西海岸にあるサンフランシスコなどがこの気候に該当します。これに対し、年間を通して降水量が平均しているのは西岸海洋性気候、夏季に降水量が多くなるのは温暖湿潤気候の特徴です。
問9	答え 4 燃焼時に排出される二酸化炭素は、原料となる植物が成長過程で吸収したものとみなされるため。	バイオ燃料は、燃焼時に二酸化炭素を排出しますが、その二酸化炭素は原料となる植物が成長過程で光合成によって大気中から吸収したものです。そのため、大気全体の二酸化炭素の増減に影響を与えないという「カーボンニュートラル」の考え方に基づいています。これにより、石油などの枯渇性資源の使用を抑えつつ、地球温暖化の原因となる物質の増加を抑制し、持続可能な社会の実現に寄与することが期待されています。
問10	答え 3 地中海性気候	温帯の中で、夏季に亜熱帯高圧帯の影響を受けることで降水量が極端に少なくなり、冬季に偏西風や前線の影響で降水が見られる気候を指します。フランス南部をはじめとした地中海沿岸や、アメリカのカリフォルニア州、南アフリカ、オーストラリア南部などに見られる特有の気候です。
問11	答え 2 南半球に位置しており、夏季にあたる時期に乾燥し、冬季に降水量が多くなる地中海性気候に属している。	南半球では北半球と季節が逆になるため、1月頃に夏季、7月頃に冬季を迎えます。問題文にある「1月の気温が高く7月の気温が低い」というデータはこの地点が南半球にあることを示しています。また、地中海性気候は温帯の中でも「夏季に乾燥し、冬季に雨が降る」という特殊な性質を持ちます。ケープタウンはこの条件に合致するため、南半球の地中海性気候であると判断できます。対照的に、西岸海洋性気候は年間を通して降水量が平均的であるという違いがあります。
問12	答え 4 小麦	世界の主要な食料のうち、ロシアやカナダといった冷涼な高緯度地域で生産割合が高いのは小麦です。対照的に、インドネシアやベトナムなどの東南アジア諸国で生産が盛んなのは、高温多湿な環境を好む稲（米）です。このように、農作物の主要産地はそれぞれの作物の生育に適した気候条件と密接に関わっています。